

# 兵庫県のり漁場環境情報 (淡路周辺海域 12号)

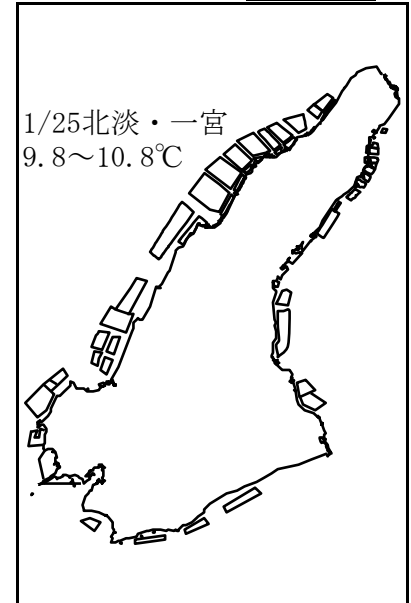
2021年 1月27日発行  
兵庫のり研究所

淡路西浦及び南浦海域では、前回(1/18)調査と同種の珪藻が確認されますが散見される程度と少ない状況です。窒素は、西浦海域で全般に1~2  $\mu\text{g-at/L}$ 、南浦海域で2  $\mu\text{g-at/L}$ でした。一方、大阪湾に面する淡路東浦海域では、スケルトネマを主体として複数種の珪藻が多く発生しており、窒素・リンともに大きく減少しています。

**(珪藻ほか)**

西浦及び南浦は、コシノディスカスや筒状連鎖型の珪藻等が散見される程度であった。窒素は、両海域とも概ね前回並みの状況。一方、大阪湾ではスケルトネマを主体とし、ユーカンピアやキートセロス・リゾソレニア等複数種の珪藻が大量発生している。窒素は1  $\mu\text{g-at/L}$ 以下とかなり低く、リンも減少している。

**水温図**



		前回値	今回値	平年値	昨年値
東浦地先	窒素	2.6	0.5	4.3	4.2
	リン	0.43	0.13	0.42	0.48
西浦地先	窒素	1.4	1.9	3.7	3.3
	リン	0.44	0.39	0.47	0.54
南浦地先	窒素	1.7	1.8	4.0	3.6
	リン	0.42	0.42	0.47	0.57

(1/18)

(1/29)

**栄養塩 (窒素) 図**

2021年 1月27日調査

